
『大原社会問題研究所雑誌』2007年度総目次

- (1) 2006年度の総目次は、2007年3月号（No.580）を参照されたい。
- (2) 2005年度の総目次は、2006年3月号（No.568）を参照されたい。
- (3) 2004年度の総目次は、2005年3月号（No.556）を参照されたい。
- (4) 2003年度の総目次は、2004年3月号（No.544）を参照されたい。
- (5) 2002年度の総目次は、2003年3月号（No.532）を参照されたい。
- (6) 2001年度の総目次は、2002年3月号（No.520）を参照されたい。
- (7) それ以前の総目次の所在については、2002年3月号（No.520）、1992年3・4月合併号（No.400・401）を参照されたい。なお、大原Webサイト（<http://oisr.org/>）でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、公開を行っている。

【2007年4月号 No.581】

【第19回国際労働問題シンポジウム】

雇用関係と労働者保護

特集にあたって 早川征一郎

2006年のILO第95回総会について 長谷川真一

ILOにおける審議をめぐって 安達 栄

労働者の立場から 二片すず

使用者の立場から 津守恵子

ILO総会『レポート』と日本 永野秀雄

質疑応答

参考資料①雇用関係に関する勧告（第198号）（2006年6月15日採択）②雇用関係に関する決議（2006年6月15日採択）③雇用関係に関する決議（2003年6月18日採択）

講 演 近代日本における社会運動と高知県 梅田俊英

国際交流 プレハーフ生誕150年国際会議 坂本 博／相田利雄

書評と紹介 菅沼 隆著『被占領期社会福祉分析』 村上貴美子

伊藤善典著『ブレア政権の医療福祉改革——市場機能の活用と社会的排除への取組み』

尾形裕也

森 健著『グーグル・アマゾン化する社会』 野村一夫

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 非正規雇用の拡大とその問題点——労働基準の切り下げに関する一考察 永田 瞬

所 報 2006年12月

【2007年5月号 No.582】

- 論 文 在留特別許可の法社会学——日本で暮らす外国人の法的基礎 丹野清人
女性事務職のキャリア形成と「女性活用」——ジェンダー間職務分離の歴史的・変容過程
の考察 駒川智子
- 研究回顧 一社会政策研究者の中間回顧（上） 相澤與一
- 書評と紹介 松島静雄監修／石川晃弘・川喜多喬・田所豊策編著『東京に働く人々——労働現場調査20年の成
果から』 上林千恵子
本間義人著『地域再生の条件』 橋本美由紀
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所 報 2007年1月

【2007年6月号 No.583】

- 【特集】日本における循環型社会形成の可能性
- 日本の廃棄物問題と関連法制度について 赤石秀之
循環型社会の実現へ向けた自治体の取り組み——荒川区の取り組み紹介 小祝慶紀
日本の電力市場に関するサーベイ——電力自由化と環境政策の現状と課題 大平佳男
- 研究回顧 一社会政策研究者の中間回顧（下） 相澤與一
- 書評と紹介 牧民雄著『ミスター労働運動——城常太郎の生涯』 永原 丞
室住眞麻子著『日本の貧困——家計とジェンダーからの考察』 塚原康博
河西宏祐／ロス・マオア著『労働社会学入門』 江頭説子
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 新しい大人のための公共哲学・試論——連帯の技法・社会関係資本・commons 野村一夫
- 所 報 2007年2月

【2007年7月号 No.584】

- 【特集】オーストラリアの労働運動と労働党
- 労働運動と新しい社会運動——オーストラリアの事例 ヴェリティ・バーグマン／鈴木玲記
規制緩和という名の規制強化——豪州「仕事選択法」の検討から 長峰登記夫
オーストラリア労働党の過去、現在、未来 杉田弘也
- 講 演 地方労働組合評議会（Central Labor Council）と労働者階級の力 イマニエル・ネス／鈴木
玲記
- 書評と紹介 粕谷信次著『社会的企業が拓く市民的公共性の新次元——持続可能な経済・社会システムへの
「もう一つの構造改革」』 富沢賢治
李尚波著『女子大学生の就職意識と行動』 森永康子
秋山清著『秋山清著作集』全12巻 梅田俊英
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 月例研究会 社会調査とオーラル・ヒストリー 江頭説子
- 所 報 2007年3月

【2007年8月号 No.585】

【特集】社会科学研究所とオーラル・ヒストリー

歴史研究とオーラルヒストリー 伊藤 隆

社会学とオーラル・ヒストリー——ライフ・ヒストリーとオーラル・ヒストリーの関係を中心に 江頭説子

大原社会問題研究所のオーラル・ヒストリー 吉田健二

論文 自動車産業における請負労働と分業構造 戸室健作

書評と紹介 浅海典子著『女性事務職のキャリア拡大と職場組織』 大槻奈巳

武石恵美子著『雇用システムと女性のキャリア』 富田安信

山本真理著『戦後労働組合と女性の平和運動——「平和国家」創生を目指して』 松尾純子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 『日本労働運動資料集成』の編纂を終えて 早川征一郎

所 報 2007年4月

【2007年9・10月号 No.586・587】

【特集】『日本労働運動資料集成』完結記念号

『日本労働運動資料集成』の編纂を終えて 早川征一郎

講演 ジャーナリストから見た日本の労働組合運動の現状と課題 中野隆宣

論文 イギリスにおける地域保健サービスの形成——NHS成立の側面 白瀬由美香

偽装請負のもとで働く若年労働者の労働過程——自動車部品メーカーアイズミテック社の事例をもとに 伊藤大一

書評と紹介 豊田真穂著『占領下の女性労働改革——保護と平等をめぐる』 天野正子

佐藤彰男著『テレワークの社会学的研究』 堀真由美

Ruth Milkman著*L. A. STORY: Immigrant Workers and the Future of the U.S. Labor Movement*

鈴木 玲

書評への応答 西尾孝司氏書評への反論 高木博史

社会政策学会会員研究業績一覧（2006年1月～12月刊行分） 社会政策学会

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所2006年度の歩み

月例研究会 杉山元治郎の公職追放——「農民運動の父」杉山元治郎の戦中・戦後 横関 至

所 報 2007年5・6月

【2007年11月号 No.588】

【特集】社会科学研究所とオーラル・ヒストリー（2）

労働調査（聴取り調査）とライフ・ヒストリー 山本 潔

女性史研究とオーラル・ヒストリー 倉敷伸子

論文 ブルーカラーの職能資格等級の決定に関する考察——ステンレス鋼メーカーの事例分析

田中真樹

調査報告	在日コリアン企業家の経営活動とネットワークの展望	林 永 彦
読書ノート	栃本一三郎・連合総合生活開発研究所/編『積極的な最低生活保障の確立——国際比較と展望』	小越洋之助
書評と紹介	社会政策学会編『働きすぎ——労働・生活時間の社会政策』	森岡孝二
	太郎丸博編『フリーターとニートの社会学』	上西充子
	中野麻美著『労働ダンピング——雇用の多様化の果てに』	永田 瞬
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	
月例研究会	「労働ビッグ・バン」路線と労働法制の抜本的見直し政策——第166通常国会の政治過程を振り返って	
	芹沢寿良	
所 報	2007年7月	

【2007年12月号 No.589】

【特集】社会科学研究所とオーラル・ヒストリー (3)

	オーラル・ヒストリーの実践と同時代史研究への挑戦——吉沢南の仕事を手がかりに	大門正克
	労働研究とオーラルヒストリー	梅崎 修
	韓国の労働史研究とオーラル・ヒストリー	李 鍾 久
論 文	杉山元治郎の公職追放——「農民の父」杉山元治郎の戦中・戦後 (上)	横関 至
書評と紹介	川喜多喬編/小池和男監修『女性の人材開発』	脇坂 明
	チャン・ピルファ他著/西村裕美編訳『韓国フェミニズムの潮流』	山下英愛
	辻勝次編著『キャリアの社会学』	江頭説子
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	
国労「野村基金」解消に伴う寄付金贈呈式に出席して	相田利雄	
所 報	2007年8月	

【2008年1月号 No.590】

論 文	処遇のあり方をめぐる労働者意識——1960年代の八幡製鉄を事例として	杉山 裕
	労働を見る社会の視線——日韓新聞社説研究	金正 勲
	杉山元治郎の公職追放——「農民の父」杉山元治郎の戦中・戦後 (下)	横関 至
調査報告	認知症高齢者グループホームの介護成果と雇用管理——株式会社型と医療法人型の比較 (上)	小林謙一
書評と紹介	上村千賀子著『女性解放をめぐる占領政策』	橋本紀子
	乙部由子著『中高年女性のライフサイクルとパートタイム——スーパーで働く女たち』	本田一成
	熊沢誠著『格差社会ニッポンで働くということ——雇用と労働のゆくえをみつめて』	五十嵐 仁
社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	
月例研究会	電力産業における環境問題への経済学的アプローチ	
	大平佳男	

【2008年2月号 No.591】

【特集】2007年アジア研究学会

——シンクタンクからアーカイブへ：日本研究の研究資源および研究対象としての大原社会問題研究所

特集にあたって 鈴木 玲

司会者の挨拶 アンドルー・ゴードン

大原社会問題研究所と労働科学の誕生 中山いづみ

大原社研アーカイブと社会史研究 クリストファー・ガータイス

コメント 二村一夫

論 文 戦前期都市社会調査における調査活動と社会事業行政職員 杉本弘幸

農村－都市間の労働力移動と中国の都市部における賃金格差（上） 馬 欣欣

調査報告 認知症高齢者グループホームの介護成果と雇用管理——株式会社型と医療法人型の比較（下）

小林謙一

書評と紹介 井上雅雄著『文化と闘争——東宝争議1946－1948』 岡田秀則

塚本一郎/柳澤敏勝/山岸秀雄編著『イギリス非営利セクターの挑戦——NPO・政府の戦略パートナーシップ』 中川雄一郎

尾西康充著『近代解放運動史研究——梅川文男とプロレタリア文学』 横関 至

史料紹介 『産業福利』第1巻の「発見」とその意義 梅田俊英

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

月例研究会 政策形成過程の変容と労働の規制緩和 五十嵐 仁

所 報 2007年10月

【2008年3月号 No.592】

論 文 要介護高齢者と障害者領域の現金給付制度——イタリアにおける介添手当制度の事例から

宮崎理枝

生活クラブ生協北海道における社会運動の成果と連帯のゆくえ——動員構造と運動文化の観点から 西城戸 誠

日本共産党「22年綱領草案」問題再考 黒川伊織

農村－都市間の労働力流動と中国の都市部における賃金格差（下） 馬 欣欣

書評と紹介 藤本茂著『米国雇用平等法の理念と法理』 山内久史

佐藤幸夫・堀司朗編『魂の道標へ——池田勇作と郁の軌跡』 吉田健二

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』2007年度総目次

月例研究会 無償労働の評価方法をめぐる研究の経過 橋本美由紀

所 報 2007年11月